

令和 3 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大成小学校 学校協議会

1 総括についての評価

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

「子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現」と「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」のどちらの最重要目標においても、目標を達成している。児童の意識と、教職員の意識とが概ね一致しており、学校運営が順調に進んでいると理解できる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な学校（学校・家庭・地域）の実現

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校行事や教育活動にさまざまな制約があり、児童にとって、ストレスがたまり、過ごしにくい学校生活であったと思われる。

そんな中、教職員が、授業中や休み時間などに児童の様子をよく観察して、気になることは、関係教職員で情報を共有し合い、適切に対処してきた。また、学校生活のあらゆる場面において、教職員一人一人が、児童のよい所を認める具体的な声掛けが継続的に行われた。その結果、児童にとって安心して成長できる学校生活環境が整い、自己肯定感が向上したようだ。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

今年度の学校の自己評価結果は、妥当である。

学力面では、研究教科である国語科を中心に、特に「聞く・話す」の言語活動への指導を通して、思考力が深まり、表現力の高まりが見られた。それは、各教科へもよい影響を与え、大阪市小学校学力経年調査において、多くの学年で、大阪市平均を上回ることができたようだ。今後、さらに、言語活動の充実に取り組むとともに、1人1台学習者用端末と校内ネットワーク環境の整備に伴い、ＩＣＴ機器を有効的に活用して、学力の向上につなげていただきたい。

体力面では、体育の授業で、準備運動において、「ペア・ストレッチ」や「体つくり運動」を多く取り入れ、少しづつ体力が向上しているようだ。今後、さらに、体育の授業で「体つくり運動」に取り組んだり、これまで以上に、外遊びを推奨したりして、運動の習慣を身につけさせてほしい。また、「早寝・早起き・朝ご飯」、「歯磨き」の習慣など、よい傾向を継続できるように、基本的な生活リズムを、さらに、向上させていくために、家庭への啓発を一層推進していただきたい。

3 今後の学校運営についての意見

よかつた点は継続し、一方、改善するべきところは改善し、来年度以降に大いに活かしてほしい。

今後も、魅力ある学校づくりのために、さまざまな取り組みを学校・家庭・地域が連携して行う必要がある。